

東野健次郎 英詩教育者。元治元年五月十八日陸奥國曲磐井郡一關村生れ、昭和十一年八月二十三日歿（八六—一九三六）。號曲里。明治十二年新潟英詩學校卒。上京して渡應義塾に入るも一度も聽講せず、一方上野の圖書館に二年間自參して館内の英書全書を讀破したといふ。のち文部省中學校教員檢定試驗に合格し、二十二年試驗官神田乃武の推薦により第一高等中學校英語教員屬託となる。二十五年第二高等中學校に轉じ、爾來及びるまでの四十餘年間英語教授として一貫した。この高の全寶く。この附、二十六年に歐洲留學。

「書と書はさなかりだが、超凡な讀書力、博覽強記、忘無しの海山振り、生涯獨身等、舊制高校名物教授中の筆頭格。因みにこの高の岩元積と共々、夏目漱石作「三四郎」の登場人物へ廣田先生へのモデルに擬せられてゐる。

『故東野健次郎先生追懷錄』（昭和十一年十二月二十四日第一高等中學校同窓會『同窓會報』第四十二號附録）が、ある。

